

第3分科会 交流及び共同学習

共生社会に生きる力を育む 交流及び共同学習

青森県八戸市立町畑小学校

教諭 和泉 範子



青森県
八戸市

I 実践にあたって

- ・「総合的な学習の時間」

地域の学校や福祉施設と交流し、多様なものの見方や考え方に触れさせることで、郷土に誇りをもち、ふるさとを大切にする態度を育てる。

- ・5学年の単元「八戸第一養護学校と交流しよう」

学区内にある特別支援学校の児童と様々な方法で交流し、多様性を養い、相手を思いやる心を育むことを目指した活動



青森県立八戸第一養護学校

肢体不自由の児童生徒に対する教育を行う特別支援学校。

八戸市立町畑小学校

- ・児童数176名。自然豊かな学校。
- ・通常学級6クラス、特別支援学級3クラス。
- ・5年生の児童 29名。



これまでの八戸第一養護学校との交流の方法

①グループ分けせずに全体での交流

⇒個人を覚えづらい。

②八戸第一養護学校の児童を町小に招き、体育館で全体交流

⇒養護学校の児童の身体的負担が大きい。

③オンラインでの交流⇒直接的な触れ合いができない。

⇒相手の反応がわかりづらい。

一回きりの全体交流➡一方的な発表・もてなしになりがち



今回から小グループ(8班)に分けて、2回の交流。

Ⅱ 実践内容

1 ハ戸第一養護学校からゲストティーチャーを招く（1回目）

養護学校についての
基礎的な知識

2 自己紹介ポスターを交換する

友達の情報

3 ハ戸第一養護学校の施設見学及び交流（1回目）

実践①

4 ワークショップ形式の出し物を考え、準備をする

1回目の交流を基に
考える

5 ハ戸第一養護学校からゲストティーチャーを招く（2回目）

アドバイスを基に
修正

6 ハ戸第一養護学校に訪問・交流（2回目）

実践②

Ⅰ 八戸第一養護学校からゲストティーチャーを招く（Ⅰ回目）



①特別支援学校とはどんな学校なのか？



肢体不自由って？

病気やけがにより、日常生活の中での
動作がむずかしい じょうたい

「立つ」「すわる」「歩く」
「食べる」「字を書く」
「しせいをたもつ」など、



Ⅰ ハ戸第一養護学校からゲストティーチャーを招く（Ⅰ回目）

1 どんな学校？

生活しやすい、勉強しやすい工夫
がたくさん



みんなの学校と
おなじところは？
ちがうところは？

少しだけしょうかい



つくえ



プレイルーム



I ハ戸第一養護学校からゲストティーチャーを招く（I回目）

コミュニケーションの取り方

2 自己紹介のポイント

・ 話すときは...

① ゆっくり

② はっきり



・ 話すときは...

③ 正面から

④ 目線を合わせて



Ⅰ 八戸第一養護学校からゲストティーチャーを招く（Ⅰ回目）



・話すときは...

⑤とくいわざを見せる



3 仲よしになるヒント

・声をかけてから手伝おう

なにか
おてつだい
しましょうか？



Ⅰ 八戸第一養護学校からゲストティーチャーを招く（Ⅰ回目）

3 仲よしになるヒント

- ・ よだれが出ているのは
どうして？



2 自己紹介ポスターを交換する



町畑小
ポスター

2 自己紹介ポスターを交換する

八戸第一養護学校 ポスター



3 八戸第一養護学校の施設見学及び交流（1回目）

①施設を案内してもらう



3 八戸第一養護学校の施設見学及び交流（1回目）



玄関



病院とつながっている

3 八戸第一養護学校の施設見学及び交流（1回目）

②グループに分かれて交流（自己紹介・簡単な出し物）



※養護学校主導

爆弾ゲーム

- ・ICT活用
タブレットのルーレットで、養護学校の児童がお題や順番を決めることができる。

3 八戸第一養護学校の施設見学及び交流（1回目）



大きなジェンガ

- ・大きいので誰でもつかみやすい。
- ・色があることで、養護学校の児童の意見を取り入れやすい。

3 八戸第一養護学校の施設見学及び交流（1回目）



パラシュート

養護学校の児童が大好きな遊び。楽しそうにはしゃぐ姿に、町小児童にも笑顔が。

3 八戸第一養護学校の施設見学及び交流（1回目）

交流1回目の振り返り

一養にいて分かったこと、気づいたこと、一養の人は、上手に
はなせたい人や自分で歩くのがあずかしい人、いろいろな人がいる
とわかりました。よくは8班でした。自己紹介をして、たくさん話
とかいてました。ゲムは、ダンスがをやってダンスか、大きなものを
使い、一養の人をで扱った工夫をねえいるとわかりました。

3 八戸第一養護学校の施設見学及び交流（１回目）



交流１回目の振り返り

しょう害者はしょう害者たけと、しっかり友達に
なれると分かりました。また、いくつかいろいろ

3 八戸第一養護学校の施設見学及び交流（1回目）

交流1回目の振り返り

ハ一養の子はみんなしょうがいがあったり体の不自由な所
があってすごし私たちよりちがいました。でも私たちと同じように遊
んだり是可以することもあるからとても楽しかったです。第一養護学校
にはスロープや手すりや自動ドアなど毎日すごしやすい工夫がありま
した。ハ一養の子はすなおに気持ちを伝えてくれるから楽しいように
手を動かしていたりして気持ちを伝えていてすごいです。だから授
業もできるだけあいさつなども先生の力を借りながら自分で
やろうとしていてとてもがんばっているんだなと思いました。

3 八戸第一養護学校の施設見学及び交流（1回目）

交流1回目までの児童の変容

- ・周りにいる友達しか知らない⇒体の不自由な人がいる。

そのためにいろいろな工夫をしている学校がある。

- ・健康な友達としか遊んだことがない

⇒体の不自由な人とでも友達になれる。

- ・コミュニケーション=言葉

⇒表情、体の動き、仕草で伝えることができる。

- ・体の不自由な人=何もできない

⇒自分でできることは自分でやろうとしている。すごい。

4 ワークショップ形式の出し物を考え、準備をする



1回目の交流の経験をもとに、2回目の交流の準備や練習をします。

カエルのうた
(鍵盤ハーモニカと歌・踊り)

4 ワークショップ形式の出し物を考え、準備をする



リコーダー2重奏「星笛」

・話すときは...

⑤とくいわざを見せる



4 ワークショップ形式の出し物を考え、準備をする

紙コップロケット

持ち手を輪っかにする

洗濯ばさみでおさえやすくする



4 ワークショップ形式の出し物を考え、準備をする

とんとんずもう

1 クッションを付ける

手が痛くならないようにするため

たたく場所を分かりやすくするため

2 いろいろなおすもうさんを作る

好きなおすもうさんを選んでほしい!

4 ワークショップ形式の出し物を考え、準備をする

車椅子でもやりやすいように…

- 1 持ち手が輪っか
- 2 釣り糸を長くする
- 3 台に魚を乗せる

車椅子を動かすのは
ぼくたちが手伝うよ



魚釣り

5 八戸第一養護学校からゲストティーチャーを招く（2回目）

読み聞かせ「変身トイレ」

リズムが
良い

繰り返しが多い



5 ハ戸第一養護学校からゲストティーチャーを招く（2回目）

カポカポ紙コップ

台に傾斜が
あるといいな

持ち手をもっと
太くするといいよ



5 八戸第一養護学校からゲストティーチャーを招く（2回目）

ひもくじ

養護学校児童の好きなものの絵をたくさん描く

持つところは
ボールみたい
だとつかみや
すいよ



5 八戸第一養護学校からゲストティーチャーを招く（2回目）

弱い力でも球が飛ぶ

操作が簡単

玉入れゲーム

キラキラ光るものが好きな子が多いから、キラキラテープをたくさん貼ろう！」

「好きなキラキラを狙ってくれるとうれしいな」



6 八戸第一養護学校に訪問・交流（2回目）



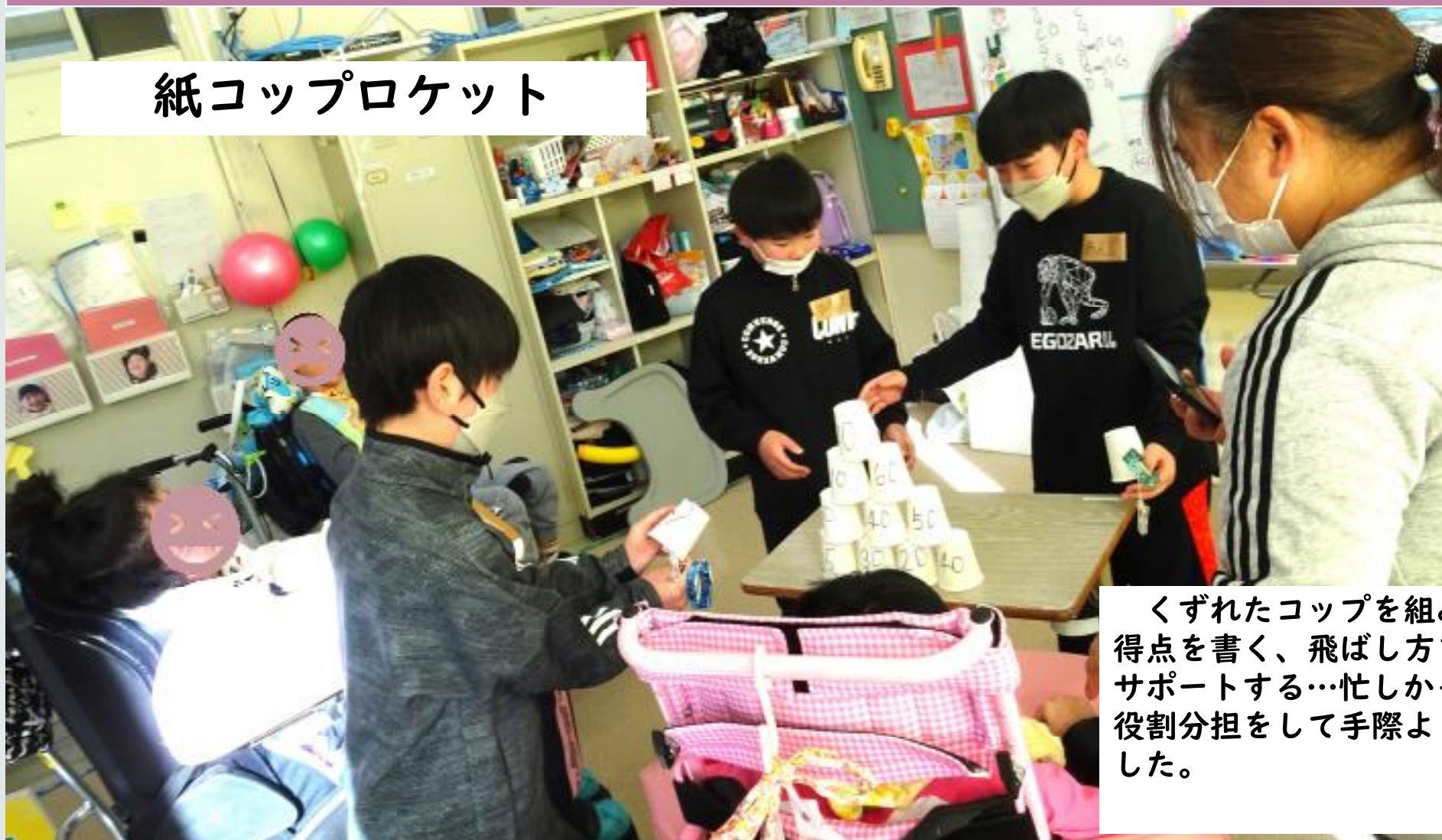
ソーラン節
(学習発表でやりました)
※ラジカセ借用

八戸第一養護学校の
友達に楽しんでもらう
※本校主導



6 八戸第一養護学校に訪問・交流（2回目）

紙コップロケット



くずれたコップを組み直す、
得点を書く、飛ばし方を教えて
サポートする…忙しかったけど、
役割分担をして手際よくできま
した。

6 八戸第一養護学校に訪問・交流（2回目）

魚釣り



車椅子をバックして釣り糸を
スライドさせることでたくさん
の魚が釣れました！

車椅子を想定した子どもたち
の独特な発想。

6 八戸第一養護学校に訪問・交流（2回目）

カポカポ紙コップ

傾斜が足りず、結局手で持った（笑）。でも、持ち手を太くしたのと、コップがずり落ちないようにガードをつけたのは◎



6 八戸第一養護学校に訪問・交流（2回目）

玉入れゲーム

さらなる改良！転がし型に。
命中率アップ！



6 八戸第一養護学校に訪問・交流（2回目）

劇「赤ずきん」参加型



6 八戸第一養護学校に訪問・交流（2回目）



6 八戸第一養護学校に訪問・交流（2回目）

お別れのとき…

ホールまでお見送りしてくれました。
移動のとき、町小児童と養護学校の児童が手をつないでくる姿が見られました。お互いに名残惜しそう…



6 八戸第一養護学校に訪問・交流（2回目）

交流2回目の振り返り

R

ちゃんは最初ちょっともつのがむずかしそうだったけど、養護学校の先生がてつたてでもみんないぶんで
もってにぎったりしていたので にぎるふぶんを大きくしてよか
たなと思いました。 自分も役割をしっかりとやることか
いできたと思います。 最後 わかれるときバイバイして
くれたり手をにぎってくれたので うれしかったです。

6 八戸第一養護学校に訪問・交流（2回目）

交流2回目の振り返り

でもみんなの手にはひもをひか
けて、引いてもらってあたりから出た
ときは、こっちでうれしなっ
てました。積極的ににかかわるこ

6 八戸第一養護学校に訪問・交流（2回目）

交流2回目の振り返り

ことがいえました。マナーについてのこと
みんなのはんのうががよくてうれしかった
です。あんいくんは一養の子と楽しそうに
せっしていてやさしいなと思います。
リョウまくんは、はじめてなのに大きい声で
はすかしかがらすにせっしていてすごいな
と思います。とても楽しかったのでまた

6 八戸第一養護学校に訪問・交流（2回目）

交流2回目の振り返り

ひさしぶりに、K ちゃんと会ってなんだ、がうれ
しかったです。またいつか会ったときは、ハイク、
チとかをしたいです。
魚つりのかいせん点は、たくさんあったし、車イス
を動かすのか、むすかしがたりと、いろいろありました。

6 八戸第一養護学校に訪問・交流（2回目）

交流2回目の振り返り

赤ずきんのげきで「ハー養の子たちをまきこんでいっしょに
やれた所が楽しかったです。さきちゃんは訓練でげきしか
いっしょにできなかったけど、楽しんでくれてよかったです。Hくんは
積極的に赤ずきんをやってくれ元気がとてもおもしろかった
です。Tちゃんはカリウドのじゅうをととてもまにいってくれ
てよかったです。Rちゃんはおおかみの役をしてとてもニコニコ
していてよかったです。ひもくじではHくんが、Tちゃんか

交流2回目の児童の変容

- ・1回目より2回目のほうが、積極的に接することができた。
- ・ゲストティーチャーのアドバイスでさらに工夫できてよかった。

多様性

- ・喜んでもらえるように、友達のことを考えて作った。
- ・友達が喜ぶと、自分もうれしい気持ちになる。
- ・別れ際、手をつないだり、ハイタッチしたりした。また会いたい。

思いやり

- ・協力した仲間のいいところを改めて知ることができた。
- ・まだまだ、遊び方を改善できそう。

協働

Ⅲ 成果と今後の課題

Ⅰ 成果

- ・実際に子どもたちが顔を合わせる前に、説明→自己紹介ポスターの交換→校内の施設見学と段階的に活動を進めることにより、障がいや特性を受け入れる土台ができ、スムーズに交流できた。
- ・自己紹介ポスターで得た知識と、1回目の交流の経験をもとに、2回目の交流で相手に楽しんでもらおうと想像力を働かせ、個に応じた工夫をすることができた。

Ⅱ 課題

- ・感染症の流行で交流時期をずらすなどの対策が必要であった。コロナ禍では、オンラインでの交流になったことがあったが、今後も対面で行えるよう、特別支援学校と連携し、感染症対策や交流時期を調整していくことが不可欠である。
- ・小グループでの交流は各活動場所で同時進行なので、交流している様子をすべて見ることはできない。写真やビデオも不可の場合もある記録に残しにくい面もある。

ご清聴ありがとうございました

